

施設用途

先駆的施設

施設名

きそふくしま保育園



県産材のヒノキをふんだんに使っています

木曾町新開杭の原地区に位置するきそふくしま保育園。

2つの園が統合し誕生しました。

ヒノキをふんだんに使用し、温かみのある空間になっています。

町有林から枝付きのヒノキを設置し、

子供達の成長を見守っています。

子供達は五感を通して木の素晴らしさを感じています。

DATA

竣工	平成22年3月
構造	内装木質化(鉄骨造)
主な使用樹種	ヒノキ・アカマツ・カラマツ
階数	2階
建築面積	2,084m ²
延べ床面積	1,532m ²
全体木材使用量	99m ³
県産材利用量	53.9m ³
CO ₂ 固定量	60.4t-CO ₂



室内の状況

梁にはアカマツ、奥には町有林ヒノキを枝付で設置しました。フローリングは圧縮ヒノキを使っています。広々とした空間で子供がのびのびと遊んでいます。



室内の状況

2階からは、給食調理室を見ることができます。「今日の給食は何かな？」と調理室をのぞく光景は食べることに興味を持ち食育にもなっています。

設計会社
 (株)エーシーエ設計
 〒381-0012
 長野県長野市柳原2360-4
 TEL 026-296-8300

施工会社
 吉川・倉本・木曾コミット建設協同組合

〒397-0101 長野県木曾郡木曾町三岳9031
 (吉川建設木曾営業所)
 TEL 0264-46-2210

施設用途
公衆トイレ

施設名

福島公衆トイレ



県産材のヒノキとアカマツを ふんだんに使った、公衆トイレ

木曾町福島板敷野地区の道の駅
「木曾福島」内に所在する当該施設は、
木曾路を旅する多くの人に利用されています。
木の木目が明るさを、
木の香りが居心地の良さをもたらしています。

DATA

竣工	平成22年3月
構造	木造
主な使用樹種	ヒノキ・アカマツ

階数	1階
建築面積	90.63m ²
延べ床面積	90.63m ²
全体木材使用量	20m ³
県産材利用量	17m ³
CO ₂ 固定量	12.2t-CO ₂



外壁の状況

外壁にはサワラを使用。景観に配慮した設計はかつての宿場町をイメージさせ、落ち着いた印象となっています。



建設中の状況

梁、桁には、アカマツを使用し、柱、土台にはヒノキを使用しています。木の香り豊かな室内は木曾路を訪れた人々を迎えるおもてなしにもなっています。

設計会社
(株)エーシーエ設計〒381-0012
長野県長野市柳原2360-4
TEL 026-296-8300施工会社
松本土建・中村建設共同企業体〒397-0001 長野県木曾郡木曾町福島2773-1
TEL 0264-23-3429(松本土建木曾営業所)

施設用途
交流施設

施設名

キャンプ場バンガロー



県産材のヒノキをふんだんに使った、バンガロー

木曾町福島伊谷地区にある
キャンプフィールド木曾古道に所在する当該施設は、
都市部住民との交流施設として、
多くの人に利用されています。
大自然の中のキャンプ場にふさわしい木造施設です。

DATA

竣工	平成22年3月
構造	木造
主な使用樹種	ヒノキ・スギ

階数	1階
建築面積	71.90m ²
延べ床面積	38.77m ² (5棟分)
全体木材使用量	25m ³
県産材利用量	25m ³
CO ₂ 固定量	15.3t-CO ₂



室内の状況

構造材にはヒノキ、野地板にはスギを使用しました。



室内の状況

ベッドは、ヒノキで作成。ヒノキの香りにつつまれながら休むことができます。



内装に県産材ヒノキをふんだんに使った、 温かみと安らぎを持つ校舎

南木曾町読書地区に所在する南木曾小学校は、平成19年に町内3校（読書・蘭・田立）を統合して発足しました。校舎は旧読書小学校の建物を使用していましたが、老朽化が著しく平成21年度から3ヶ年にわたって、耐震基準に合わせた校舎の改築や内装の木質化が行われ、県産材ヒノキが使用されています。

DATA

竣工	平成22年3月、平成22年9月
構造	内装木質化
主な使用樹種	ヒノキ
階数	3階
建築面積	1,446.95m ²
延べ床面積	3,454.24m ²
全体木材使用量	43m ³
県産材利用量	31m ³
CO ₂ 固定量	26.2t-CO ₂



昇降口2階渡廊下

県産材のヒノキを使用し、明るく温かみのある校舎に生まれ変わりました。



普通教室

木質化された教室で、ヒノキの机と椅子を使用して学習に取り組んでいます。

設計会社

(株)伊藤建築設計事務所

〒390-0875
長野県松本市城西1丁目8-19
TEL 0263-32-8200

施工会社

(株)アスピア

〒390-0862 長野県松本市宮淵1-3-30
TEL 0263-32-8855

(株)岡谷組木曾営業所

〒397-0001 長野県木曾郡木曾町福島7086
TEL 0264-22-3599



県産材のヒノキを利用した内装木質化

木曾町福島大手町地区に所在する福島小学校は、昭和56年に建築され木材が使用されていませんでした。平成24年4月に木造校舎である上田小学校と統合し、再出発を迎えることとなり、これを機に、子供たちが、木の持つ優しさと温もりに触れることにより、自然環境を大切にすることを育み、健やかに成長することを目的として木質内装化を図りました。

DATA

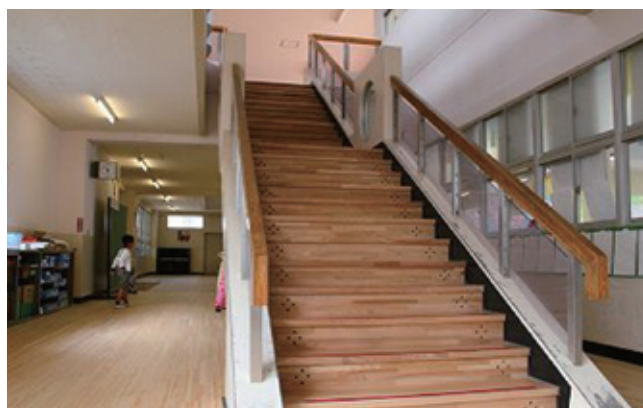
竣工	平成23年9月
構造	内装木質化
主な使用樹種	ヒノキ・タモ

階数	3階
建築面積	6,144m ²
延べ床面積	640.65m ²
全体木材使用量	10m ³
県産材利用量	8m ³
CO ₂ 固定量	6.1t-CO ₂



室内(オープンスペース)の状況

県産材のヒノキを使い内装を木質化しました。子供達がヒノキのフローリングの上で元気に過ごしています



室内(廊下及び階段)の状況

木目が明るく、優しく子供達を包み込んでいます。

施設用途

地域交流施設

施設名

木造音楽棟



内外装に県産材のヒノキを ふんだんに使用した木造音楽棟

南木曾小学校は、平成19年に町内3校（読書・蘭・田立）を統合して発足しました。校舎は旧読書小学校の建物を使用していましたが老朽化が著しく、平成21年度から3ヶ年で耐震基準に合わせた校舎の改築工事を行い、木造音楽棟は最終年度に建築されました。外観は山小屋風で県産材のヒノキを構造材や内装にふんだんに使用しています。

DATA

竣工	平成24年3月
構造	木造
主な使用樹種	ヒノキ

階数	1階
建築面積	188.79m ²
延べ床面積	151.84m ²
全体木材使用量	67m ³
県産材利用量	54m ³
CO ₂ 固定量	40.9t-CO ₂



音の反響を考慮した舟底天井

室内は、なるべく木を露出した設計となっていて、天井は音の反響を考慮した舟底天井となっています。



地域交流施設として活用

木のぬくもりや柔らかさが伝わる木造音楽棟は、小学校の音楽学習のほか、地域の交流の場としても使用されています。

設計会社
 (株)伊藤建築設計事務所

〒390-0875
 長野県松本市城西1丁目8-19
 TEL 0263-32-8200

施工会社
 (株)麦島建設長野営業所

〒399-5301
 長野県木曾郡南木曾町読書3227
 TEL 0264-57-2100

施設用途

地域交流施設

施設名

青年の家 (地域交流施設)



県産材のヒノキとカラマツをふんだんに使った、 地域交流施設

木祖村藪原地区に所在する当該施設は、地域の交流施設として、多くの人に利用され、また、旧中山道鳥居峠へ向かう途中にあり街道を歩く方への休憩所としても利用されている。26年3月に完成し、施設内はヒノキの香りがする安らげる施設である。

DATA

竣工	平成26年3月
構造	木造
主な使用樹種	ヒノキ・カラマツ

階数	1階
建築面積	206.82m ²
延べ床面積	190.05m ²
全体木材使用量	42m ³
県産材利用量	42m ³
CO ₂ 固定量	25.6t-CO ₂

木曾



地域交流施設青年の家

施設名も木製看板で表示している。

この施設は、
「平成25年度 木造公共施設整備事業」
により、県産材を使用して建設しました。
事業主体：木祖村
施設名称：地域交流施設 青年の家
建築面積：206.82㎡
延べ床面積：190.05㎡



大会議室

柱、梁、桁、敷居などふんだんに、ひのきを使用。施設内は、ヒノキの香り、木のぬくもりが心地よく感じられる優しい空間となっている。

施設用途

社会教育施設

施設名

笑ん館 (木祖村社会教育施設)



県産材(カラマツとサワラ)の素地を活かした社会教育施設

木祖村藪原地区(旧藪原宿)に所在する当該施設は、社会教育施設として利用されているほか、各種イベントも開催されている。また、藪原宿の観光案内や鳥居峠を登る人向けの熊よけの鈴の貸出も行っている。屋内とは独立した公衆トイレも備えており、観光客や地元の人が自由に寛げる憩いの場となっている。

DATA

竣工	平成26年10月
構造	木造
主な使用樹種	ヒノキ・カラマツ

階数	2階
建築面積	405.88m ²
延べ床面積	439.35m ²
全体木材使用量	89m ³
県産材利用量	67m ³
CO ₂ 固定量	47.5t-CO ₂



社会教育施設笑ん館

外壁は、耐水性に優れた、サワラの板材を使用。外側からも木材を使用した建物であることをアピールしている。宿場町の伝統的な町並の景観に合わせ、黒を基調とした色で塗装している。構造材には主にヒノキを使用している。



集会スペース

柱、梁、桁には、県産材カラマツを使用。休日には、多くのイベントが開催されるとともに、宿場を往来する人々の休憩にも利用されている。休憩スペースと集会スペースは、あえて仕切らず、村民や観光客が自由に交流できるようになっている。

設計会社 山田建築設計室
〒390-0802 長野県松本市旭1-8-11
TEL 0263-38-7878

施工会社 木曾土建工業(株)
〒399-6203 長野県木曾郡木祖村大字小木曾172-2
TEL 0264-36-2555

施設用途

地域交流施設

施設名

下在地区地域交流施設



県産材のヒノキとカラマツをふんだんに使った、 地域交流施設

県道261号線沿いに所在する当該施設は、1階を防災倉庫、2階を交流施設とし、使用しています。

2階は、小会議室、和室及び多目的室からなり、内装外装ともに、きそひのきがふんだんに使用されています。地域の交流拠点として、多くの人に利用されています。

DATA

竣工	平成27年3月
構造	木造
主な使用樹種	ヒノキ・カラマツ

階数	2階
建築面積	279.48m ²
延べ床面積	315.92m ²
全体木材使用量	88m ³
県産材利用量	77m ³
CO ₂ 固定量	57.0t-CO ₂

木曾



和室及び多目的室

和室では、きそひのき、多目的室では、腰壁にカラマツを使用しています。



廊下

化粧梁、目隠し格子、化粧格子、化粧垂木などふんだんにきそひのきを使用。

設計会社
伊藤建築設計事務所
〒390-0875
長野県松本市城西1丁目8-19
TEL 0263-32-8200

施工会社
細田・大畑・半坂建設共同企業体

〒399-5500
長野県木曾郡大桑村大字野尻1020-8
TEL 0264-55-2299

施設用途

林業生産活動拠点施設

施設名

もくりゅう館



様々な種類の樹種を使用した 県産材の普及効果の高い施設

松本地域の林業の拠点であるもくりゅう館は、
背後に長野県森林組合連合会の木材市場があり、大量の原木が集まっています。
これらの原木販売や地域の森林整備をここで実施しています。
建物自体は、様々な樹種をデザイン良く使用しており、
県産材住宅を建てる際にも参考になる施設となっています。

DATA

竣工	平成22年2月
構造	木造
主な使用樹種	カラマツ・スギ・ヒノキ
階数	1階
建築面積	579m ²
延べ床面積	572m ²
全体木材使用量	145m ³
県産材利用量	140m ³
CO ₂ 固定量	88.3t-CO ₂



針葉樹のよさが分かる展示スペース

県内の木材を各所に配置し、実際の住宅で使用する際の参考になるなどの効果があります。説明板も完備しています。



他の公共施設での参考に

会議室での利用方法は、他の公共施設を建築する際の参考にもなっています。広い空間で使用する際の構造として、行政機関等から視察を受けています。

設計会社 〒398-0863 長野県松本市白坂2丁目3-40
TOSI建築デザイン工房 TEL 0263-37-5667

施工会社 〒395-0042 長野県飯田市松尾町2丁目25番地
吉川建設(株) TEL 0265-22-3400

施設用途

地域交流施設

施設名

下大池コミュニティセンター



各樹種の特徴を活かした風合いのある 美しい木肌や木目が美しい

前の施設が、大正4年(1915年)に建てられ、
旧村役場庁舎としても
長年親しまれてきた木造建築物だっただけに、
古き良きモダンな雰囲気継承した重厚な木造施設にしました。

DATA

竣工	平成23年3月
構造	木造平屋建て
主な使用樹種	スギ・ヒノキ・アカマツ
階数	1階
建築面積	313m ²
延べ床面積	248m ²
全体木材使用量	60m ³
県産材利用量	56m ³
CO ₂ 固定量	36.5t-CO ₂



アカマツのフローリング(会議室)

アカマツ床材は、木目がくっきりと美しく、また色調も白色系のため、
優しい質感で、時を重ねるごとにさらに風合いが出てきます。



地域コミュニティの拠点に

地域の拠点となる施設にこうした県産材が使用され、利用者の反応も
好意的です。

設計会社
株県設計 〒390-0813 長野県松本市埋橋1-1-6
TEL 0263-36-5537

施工会社
ヤマウラ 松本支店 〒390-0852 長野県松本市島立867-1
TEL 0263-48-3535

施設用途

社会福祉施設

施設名

高宮児童センター



児童の増加も配慮し、 広く明るい子供の憩いの場が生まれました。

当施設は、松本市の市木であるアカマツをはじめ、
長野県産材を豊富に使用した、木の温もりが感じられる木造施設となり、
子育て環境の充実を図りました。

DATA

竣工	平成24年3月
構造	木造2階建て
主な使用樹種	アカマツ、カラマツ、スギ
階数	2階
建築面積	437m ²
延べ床面積	498m ²
全体木材使用量	153m ³
県産材利用量	107m ³
CO ₂ 固定量	75.1t-CO ₂



放課後、友達が集まる学習室

こうした空間に多くの子ども達が放課後を安心して過ごしています。
落ち着いた木のデザインがそうした時間に役立っています。



明るい遊戯室でのびのびと

針葉樹の壁材により、柔らかさを活かした安全性を高めた設計になって
います。天井も以前より高くなり、のびのびと遊んでいました。

設計会社 降幡建築設計事務所 〒390-0852 長野県松本市島立1095-1
TEL 0263-48-2222

施工会社 鍋林建工(株) 〒390-0851 長野県松本市島内3501-1
TEL 0263-48-3501

施設用途

社会福祉施設

施設名

檜川保育園



檜川の宿場の雰囲気を壊さない
歴史的な香りのするデザインです。

当施設は、県産材を効果的に使用し、
周辺環境に配慮した外観にするとともに、
木造の構造を一部あらかわしにするなど、
園児が木への親しみを持てるよう配慮している。

DATA

竣工	平成24年3月
構造	木造平屋建て
主な使用樹種	ヒノキ・サワラ・カラマツ
階数	1階
建築面積	616m ²
延べ床面積	499m ²
全体木材使用量	127m ³
県産材利用量	103m ³
CO ₂ 固定量	77.3t-CO ₂

松本



木曾谷の特色である樹種を選択

ヒノキ、サワラなど檜川地区で生育する樹種をあらかわしで設計している。



バランスの取れた木使い(リズム室)

県産材を使いながらも、重くならないよう配慮し、広い空間を実現したデザインを採用した。

施設用途

社会福祉施設

施設名

島内児童センター



落ち着いた外観と木の香りで 子ども達がすこやかに過ごします

当施設は、松本市島内地区の児童等を対象とした放課後学習として活用されています。

使用木材は主に県内産を利用し、

柱等の縦使いは主にスギを使用し、

梁・桁等の横使いはアカマツやカラマツを使用しています。

DATA

竣工	平成25年1月
構造	木造平屋建て
主な使用樹種	アカマツ、カラマツ、スギ
階数	1階
建築面積	546m ²
延べ床面積	498m ²
全体木材使用量	158m ³
県産材利用量	135m ³
CO ₂ 固定量	94.6t-CO ₂



カラマツのフローリング(図書室)

カラマツの内装材で統一してあるため、部屋ごとに特色があります。カラマツは時を重ねるごとに赤褐色に美しく熟成していきます。



アカマツで統一された創作活動室

この創作活動室はアカマツで統一されています。

施設用途

自然観察・教育文化施設

施設名

長峰山展望台 (安曇野市展望施設)



多くの来場者で
平日もにぎわっています。
木の重厚感あふれる施設。

当施設は、長峰山の山頂に
設置した休憩展望施設で、
北アルプスを一望することが可能な
安曇野市のシンボリックな施設です。
使用木材は全て安曇野市産材で、
柱等の縦使いは主にスギを使用し、
梁・桁等の横使いは
ヒノキやカラマツを使用。

DATA

竣工	平成25年3月
構造	木造2階建て
主な使用樹種	アカマツ、ヒノキ、スギ
階数	2階
建築面積	108m ²
延べ床面積	133m ²
全体木材使用量	68m ³
県産材利用量	68m ³
CO ₂ 固定量	47.6t-CO ₂

松本



2階の展望台です

ここから見える景色と内部の木材のデザインが良くマッチしています。来場者の滞在時間も長く、じっくりと安曇野の展望を楽しんでいます。



木造の構造が見えるのも魅力です

構造が全て表しとなっているので、これも魅力のひとつとなっています。「木の家」の普及啓発に役立っています。

施設用途

森林体験施設

施設名

野俣沢キャンプ場 簡易宿泊棟



周囲のカラマツ林に溶け込んでいます。

朝日村野俣沢キャンプ場は、美しい溪流のほとりにあり、夏場にはとても人気があります。

そこに3棟の朝日村産カラマツのキャビンが建てられました。カラマツの無垢材がキャンプ場にマッチしています。

DATA

竣工	平成26年7月
構造	木造平屋建て
主な使用樹種	カラマツ・スギ・アカマツ
階数	1階
建築面積	86m ²
延べ床面積	84m ²
全体木材使用量	36m ³
県産材利用量	32m ³
CO ₂ 固定量	22.9t-CO ₂



フローリングも朝日村産カラマツ

ほぼカラマツで設計されているため、カラマツの香りがすごいです。山小屋風のため、全面が木材でもあまり気になりません。



人気があります

夏場は人気があって、なかなか予約が取れないと利用者の方が話していました。朝日村産のカラマツですと説明すると喜んでいました。

設計会社 飯島建築設計事務所 〒390-0316 長野県松本市原1111-4
TEL 0263-46-2268

施工会社 清沢土建 朝日支店 〒390-1100
長野県東筑摩郡朝日村大字西洗馬68-2
TEL 0263-99-2017

施設用途

森林体験施設

施設名

緑の体験館 簡易宿泊棟

最新の設備とカラマツログと朝日村の自然で
快適な滞在を。

朝日村の「あさひプライムスキー場」の近くに
丸太小屋風の簡易宿泊施設が完成しました。
10棟が作られました。地元産のカラマツを有効に使うため、
校倉づくりにして、丸太の厚みを活かした設計となっています。

DATA

竣工	平成26年9月
構造	木造平屋建て
主な使用樹種	カラマツ・スギ・アカマツ
階数	1階
建築面積	482m ²
延べ床面積	482m ²
全体木材使用量	264m ³
県産材利用量	241m ³
CO ₂ 固定量	160.7t-CO ₂

松
本

朝日村産カラマツの壁材

カラマツの丸太を3面加工して、壁面として使っています。標高の高い朝日村の冬でも快適に過ごせます。



6人の大人がゆったりと

2部屋に分かれていて、ゆったりと過ごすことができます。太いカラマツの梁が特徴的です。トイレやお風呂は最新の機器が設置されており、ゆっくりと過ごせます。

施設用途

社会福祉施設

施設名

あがた児童センター



特徴ある外観でも、県産材が使われています。

当施設は、地域の児童保育の拠点として建設されました。
放課後になるとたくさん子ども達が学習室や遊戯室に集まります。
また高校生が参加する料理教室など、独自の取組が光ります。
廊下には高校生の見事な絵画が展示されています。

DATA

竣工	平成26年12月
構造	木造2階建て
主な使用樹種	アカマツ、カラマツ、スギ
階数	2階
建築面積	493m ²
延べ床面積	667m ²
全体木材使用量	168m ³
県産材利用量	131m ³
CO ₂ 固定量	89.4t-CO ₂



カラマツの壁板を使った遊戯室

カラマツの壁板の塗装には、木目が残る薄めの白色が使われています。
また、壁に開けられた丸い窓も木の美しさを引き立てています。



放課後の利用状況

放課後の子ども達の利用の様子です。元気に勉強、読書、おしゃべりと忙しく室内で過ごしていました。

設計会社 〒390-0852 長野県松本市島立1132-25
アーキディアック TEL 0263-47-7766

施工会社 〒390-0871 長野県松本市桐三丁目1番14号
川窪建設 TEL 0263-34-1010

施設用途
市庁舎

施設名

市民ホール 内装木質化



多くの市民が訪れる忙しい空間に
優しさが加わりました。

塩尻市役所の1階市民ホールは訪れる方のほぼ全てが通る場所です。
受付周辺、壁、天井にヒノキの壁材が使われています。
この周辺の雰囲気自然素材を使うことでより柔らかい空間になりました。

DATA

竣工	平成27年1月
構造	1階市民ホール内装木質化
主な使用樹種	ヒノキ・スギ
階数	1階
建築面積	400m ²
延べ床面積	400m ²
全体木材使用量	8m ³
県産材利用量	7m ³
CO ₂ 固定量	5.1t-CO ₂

松本



丸い天井にもヒノキが設置

もともとあった丸い天井にヒノキ板を張りました。設置前の冷たい雰囲気消え、温もりのある雰囲気が生まれました。また、このホールにはベレットストーブも設置されました。



塩尻の産業展示コーナー

塩尻ワインを代表とする、様々な地場産の食品や製品を展示する棚を設置しました。

施設用途

社会福祉施設

施設名

あさひ保育園



2つの保育園が統合され、 すべての子ども達がここで育ちます。

朝日村産のカラマツをメインに造られました。
地域の防災拠点としての位置づけもあることから、
太陽光発電、地中熱利用、幅広い廊下など、
特徴のある建物となっています。

DATA

竣工	平成27年3月
構造	木造平屋建て
主な使用樹種	カラマツ・スギ・アカマツ
階数	1階
建築面積	1,784m ²
延べ床面積	1,517m ²
全体木材使用量	382m ³
県産材利用量	280m ³
CO ₂ 固定量	232.6t-CO ₂



造りつけの家具もカラマツで

ロッカーや用具入れなどの家具も全て地元のカラマツで地元のクラフトマン達が連携して製作しました。事業対象外の机やいすも同様に使われています。



カラマツチェアでくつろいでいます

幼児のためのいすもカラマツで造られています。さっそく入園予定の女の子がくつろいでいました。

設計会社 第一設計
〒381-0031 長野県長野市西張部256-4
TEL 026-244-0880

施工会社 松本土建・清沢土建JV

〒399-0701
長野県塩尻市広丘吉田1150-3
TEL 0263-88-7511